

GMAC 2024年7月度 代表者会議議事録

- 開催日時：2024年7月16日（火） 10:00～12:00
- 場所：ゴルフダイジェスト本社会議室
- 出席者：NGK（手塚）、JGA（林、木村）、JGRA（横山、新井、野原）、JGJA（小川、嶋崎）、JGGA（新居）、有識者（片山）、有識者（喜田）、リクルート（佐藤）、ジュピターゴルフネットワーク（木村）、スポーツ庁（薄葉）、経済産業省（加藤）
- 議事録：（新井）
- 議事進行：（嶋崎事務局長）

1. 横山委員長挨拶

6月後半から7月にかけて異常な暑さが続いています。業界団体として暑さ対策のポスターを制作し発信し、暑い時でもゴルフが安全にできるように活動を行っています。
また、今年のGMACの取り組みについては、各団体のトップとミーティングを重ねています。ゴルフ活性化に向けて業界の取り組みが実行出来るようにしていきたいと思っております。

2. 各団体報告

(1) JGGA

- ①11/1（金） JGGA ペア・スクランブルゴルフ大会をザ・インペリアルカントリークラブ（茨城県稲敷市）で開催する。（55ペア）
- ②熱中症対策ポスターをHP掲載、会員企業への案内を行った。数社から問合せがきている。

(2) JGJA

7/23（火）にムーンレイク市原で酷暑対策の勉強会&視察プレーを開催する。
勉強会后、夜間視察プレーを行う。
勉強会では、LED設備の実態、特性、夜間プレー時のロストボール、電気料金、クールカート、ナイターゴルフの普及のための課題について行う。
冷感グッズ特集についても発信していただければ記事にしたい。

(3) JGRA

- ①関東6月景況調査報告
 - ・関東全体速報値で104%と好調。東京、埼玉、静岡が好調。
土日が昨年より多い曜日構成のため影響している。
- ②関東ゴルフ連盟のご協力により熱中症対策ZOOMセミナーを開催する。
「ゴルフを安全に楽しむ為の熱中症予防の基礎知識を学ぶ」
日時：2024年7月17日（水）13:30～14:45

参加費：無料

講師：長島 洋介 氏（武蔵丘短期大学 准教授）

③秋の全国キャンペーン Women's Golf Now の募集を8月から開始する。

④関西6月景況調査報告（野原）

・関西エリア6月来場者は対前年100%を超え好調に推移している。

7月は酷暑で厳しい。

⑤関西活動報告（野原）

・武庫川女子大学、ゴルフライフデザイン、多田ハイグリーンゴルフ3社で連携を図り女子学生のゴルフ普及活動、体験会を行っている。

ゴルフ場（鳴尾ゴルフ倶楽部）&練習場（多田ハイグリーンゴルフ）を視察体験してもらい、月に1回武庫川女子大学のゼミに参加してゴルフの普及に努めている。

9月には、女子学生が考えた企画（女性を集めるためのゴルフ企画）を練習場で行う。

・練習場で地域クラブの活動を行っている（対象中学生、小学生）（ゴルフ、サッカー、テニス、文化陶芸・・・）。ただ目的、目標になる大会、発表会等がないため苦戦している。

・JGRA ジュニア検定会を8/19に鳴尾ゴルフ倶楽部で開催する。

教育委員会の協力（チラシ配布）により42名の参加申し込みがある。

今後、地域クラブへの入会へ繋げていきたい。

・秋の Women's Golf Now を計画している。

⑥今後JGRAの若手経営者の発表する機会を設けたい。（横山委員長）

（4）NGK

①ゴルフ場における「熱中症予防対策ガイドライン」を策定し6/19に発表した。

・NGKの関連企業である日本ゴルフ場共同購入では、熱中症対策グッズの販売を強化している。

・現在猛暑日のプレーは、各プレーヤーの自己判断で行っている（啓蒙活動は行っている）。

大きな問題にはなっていない。

・従業員の安全確保、雇用責任もあり注意している（ファン付きウェアの支給等）

②外国人雇用について（人手不足解消）

・ベトナム国立農業大学との技能実習制度「技人国」の就労資格制度トライアルにより、現地で面接しベトナム留学生8名を内定したが、円安で賃金が目減りし厳しい状態。

今後円安が続けば技能実習制度も難しくなる。

③雇用データの収集（初任給、賃金ベース、休日・・・）を開始した。

企業説明会時等にゴルフ場産業としてのデータが不足し、新規採用に影響がでている。

そのため今後人手不足に拍車がかかる恐れがある。

④中長期ビジョン 「ウエルビーイングの世界」についてプロジェクトチームで活動をスタートする。

（5）JGA

1) ゴルフ振興推進本部 女性とゴルフ部会 Women's Golf Now (WGN) の活動報告。

今年度より多くの女性にゴルフを知ってもらい、始めてもらい、続けてもらうことを目的に WGN の名称のもと、年間を通じて関連団体と一緒に取り組みを行っている。

①Women's Golf Day 報告

ゴルフ場 119 コース、練習場 7 場、企業/店舗 7 施設が参加し 6 月第一火曜日に開催した。

②Women's Golf Now 報告（各団体と連携）

- ・全日本ゴルフ練習場連盟 全国キャンペーン上期の開催（154 場）
- ・日本ゴルフ用品協会 Women's Golf JGGA CUP の開催（東日本 149 名、西日本 86 名）
- ・日本ゴルフツアー機構 BMW 日本ゴルフツアー選手権時に女性来場者は無料（3,794 名）、パッティングコンテストの開催を行った。
- ・日本女子プロゴルフ協会 富士フィルム・スタジオアリス女子オープン、ヨネックスレディースゴルフトーナメント 2024、宮里藍サントリーレディースオープンゴルフトーナメント、NEC 軽井沢 72 ゴルフトーナメントの各会場で女性来場者へチラシ、チップマーカーを配布した。
- ・日本パブリックゴルフ協会 全日本女子アマチュアゴルファーズ選手権、全日本女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権時にチラシ、チップマーカーの配布。
- ・日本女子アマ予選、本選でもチラシ、チップマーカーの配布。
- ・宮里藍サントリーレディスオープンでは JLPGA 所属プロによるレッスン会も開催。
- ・TSI ホールディング（12 店舗）でゴルフウェアを購入した女性へチップマーカーを配布。
- ・ゴルフ 5 では 6 コースで女性向けゴルフコンペを開催。

③Women's Golf Now 今後の新たな取組みについて

- ・春（5 月）、秋（9 月）に「女性とゴルフ週間」（仮称）を設置し女性普及活動を行う。
- ・秋の女性とゴルフ週間 2024 年 9/15（日）～9/29（日）日本女子 OP までの 2 週間
- * 2025 年度
- ・春の女性とゴルフ週間 2025 年 5/11（日）～5/25（日）母の日から 2 週間
- ・秋の女性とゴルフ週間 2025 年 9/21（日）～10/5（日）日本女子 OP までの 2 週間

2) ゴルフ振興推進本部 ゴルフと健康部会

- ・2024 年ゴルフ健康週間 2024 年 9/9（月）～9/15（日）を開催する。
- * 日本シニアオープンではゴルフで健康寿命をのばそう！プロジェクトとして、スタンプラリー「ゴル印めぐり」、その他イベントを行う。
- * 日本女子オープン、日本オープン時にもスタンプラリー「ゴル印めぐり」を実施する。

3) その他

- ・JGA ではゴルフ普及活動を今後も継続的に活動をして行きたい。
地区連盟、関係ゴルフ団体と協力していく。
- ・今年度は年間通して活動を推進する Women's Golf Now の認知度向上を目指している。またゴルフ振興推進本部推進会議には地区連盟の事務局長、関連団体が参加し共有している。
- * Women's Golf Now (Day) の参加施設数、人数を把握してほしい。
上期アンケートを回収中。
- * 底辺のゴルフを増やす対策を JGA が先頭になって活動してほしい。
ショートコース併設練習場で未経験者や初心者を対象にしたイベントを計画している。

(6) ジュピターゴルフネットワーク

- ・ダンロップ×ゴルフネットワーク ゴルフのたすきプロジェクトを開催している。
- ・今年も初心者 32 組 64 名募集する。
- * ゴルフは誘われることが始めるきっかけになるとのデータが出ている。

(7) リクルート

- ・ゴルフ練習場併設ショートコースへのgolmagi開催案内を JGRA と連携し進めていきたい。
- ・お盆明けに案内を開始し、秋口にスタートを目指したい。

(8) 有識者

- ・GEW ではビジネス交流会を定期的で開催している。今回は酷暑をテーマにし、熱中症対策ポスターを掲示しポスターのネット配信を行った。ポスターの反応は良かった。

(9) G ちゃれ報告 (代理嶋崎事務局長)

2. 今後の GMAC 活動について (有識者、各出席者より意見が出され議論された)

- ・GMAC として来年の活動テーマを議論して年内に決めてほしい。
そのテーマの活動を年間通して取り組んでほしい。
テーマが決まれば来年のゴルフフェアのセミナーで発表できる。
- ・2030 年問題、団塊世代が 80 歳を超えると活動率が下がる。何かの対策が必要ではないか。
- ・JGA として女性普及活動を行っている。3 年、5 年先の成果を目指す。
- ・スコットランド協会では 3 万人の女性会員を増やそうと活動している。
- ・USGA で女性の 3 割が 9H のプレーでハンディキャップを取得している。
女性ゴルファーがプレーし易い環境整備が必要ではないか。
- ・日本でまだ女性ゴルファーの普及拡大ができるのではないか。
- ・以前にスポーツ庁にて女性のゴルフ進出のレポートが出ている。
- ・ゴルフをしていない方をどのようにゴルフをしてもらう活動をすべきか。
- ・コースでのクラブ競技参加者数は減少しているのではないか。(データは無いが)
- ・業界が持ちこたえている時代に対策をすべきでないか、ラストチャンスとして。
- ・ゴルフ場も人手不足の時代になる。(やれる範囲が限られてくる)
- ・ゴルフ団体も会員数、収入が厳しい時代になっている。
- ・各団体としてどうするか議論をしてほしい。
- ・会議案内に議題を記載してほしい。
- ・女性を対象にしたセミナー時に、女性は誘わないとゴルフを始めない事例が紹介されていた。
- ・今ゴルファーを増やさないと 5, 6 年先にはゴルフマーケットが心配になる。
コロナ禍で若いゴルファーが増えている。
業界の力が落ちてきてからでは中々出来ない。
- ・悪いデータ (情報) を出したがらない。将来が心配になる。
- ・GMAC の目標を各団体がどう対応していくかが必要である。
- ・コロナ禍では安いクラブが売れていた。初心者がゴルフに入り易い安価なクラブも必要。
- ・1 回の体験レッスン後スクールに入会し (レンタルクラブを使用)、その後自前のクラブを購入

する流れ。

- ・マーケットの実態把握をして、どう GMAC として仕組みをつくるかも必要。
- ・インドアからゴルフ場へどうつなげるかが必要ではないか。
- ・ゴルフ場側でもビジターを歓迎できる仕組みづくり（特設ティ、本数の削減・・・）
- ・今のままでの延長ではスポーツ市場の中で最大のゴルフ市場が衰退してしまう。
- ・ターゲットを決める。若者を増やす、解決には
現状若い人が興味を持って練習場へ行く（仲間と）→次のゴルフ場へ行くのに高いハードルがある。18H ラウンドするのが辛い。色々な課題（服装等）がある。
- ・職場でも一緒にゴルフをするのが課題（昔の時代ゴルフの発展は職場から増えた）、障壁になっている。ゴルフ人口を増やすには大きな問題だと思う。
- ・各団体もゴルフ人口を増やす対策の課題整理が必要ではないか。
- ・出来るところから議論して、まとめ、出口を探すのもある。
- ・スポーツ志向（ゴルフ部）のゴルファー（若年層）と連携も必要。
（練習の受入れに対し新規ゴルファー（ジュニア等）の支援活動）
- ・今後はレジャーが多すぎてゴルフしかやらない人達が少なくなる。
- ・30代、40代は育児が中心でゴルフをやれる環境ではない。
- ・ゴルフがまた面白くなるきっかけがあれば女性は戻ってくる。
- ・GMAC モデル作ったらどうだろうか。（新しいゴルフ振興、初心者創造モデル）
新規ゴルファーを増やす対策を作成してみる（若手の方々を中心にチーム）
練習場、ゴルフ場、インドア施設、ゴルフ用品業界から参加してもらい活動してみる。
関係団体へ提案していく。
- ・スクランブルも以前 GMAC から広まった。
- ・GMAC で方向性を決めて、新しい初心者創造 GMAC モデルの新しい委員会をスタートしたらどうだろうか。

○今後のスケジュール（予定）

- | | | | |
|-------------|------|-----------|-------------------|
| ・ 9月12日（火） | 10時～ | ゴルフダイジェスト | |
| ・ 10月9日（水） | 10時～ | ゴルフダイジェスト | |
| ・ 11月13日（水） | 10時～ | ゴルフダイジェスト | |
| ・ 12月10日（火） | 16時～ | ゴルフダイジェスト | ※会議後忘年会を開催します（予定） |

以上